課題解決型高度医療人材養成プログラム
選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント

［取組１］医師・歯科医師を対象とした事業
（３）健康長寿社会の実現に貢献する歯科医療人養成

整理番号	１３

申請担当大学名 （連携大学名）	東京医科歯科大学 （東北大学、新潟大学、東京歯科大学、日本歯科大学）計５大学
事業名	健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム
事業責任者	大学院医歯学総合研究科長・歯学部長　森山　啓司

事業の概要

本プログラムは、歯学教育分野で先導的な役割を果たしてきた 5 大学が国立私立の枠を超えてコンソーシアムを形成し、各大学の強みである教育資源を共有・補完することで、健康長寿を育むためのあらゆるライフステージに対応した全人的歯科医療を担う人材養成の実現を目指す。

具体的には、各大学が個性を生かした学部学生対象コースを新設し、教育コンテンツを開発、アーカイブ化し、e-learning や教員の相互乗り入れにより、シームレスかつボーダレスな共同利用を行う。また、シンポジウム、FD 等の共同開催により、学部学生や教員の知識・技能の向上を図り、研修医、大学院生等への卒後教育への波及効果も期待する。更に得られたプロダクト、教育成果をＨＰ、学会等を通じて全国発信・共有化を図り、歯学教育の高度化、標準化を目指す。

また、本コースを既存の教育課程に取り込み卒業要件の一部とすることで、上記課題を解決する人材養成を促進する。

推進委員会からの主なコメント　　○：優れた点等、●：充実を要する点等

○国立私立の 5 大学がコンソーシアムを形成し、それぞれの特色ある教育資源を生かしながら授業科目を相互活用することにより、学生教育の相乗効果が期待できる。

○コア・カリキュラムと大学ごとの独自カリキュラムを融合して、歯科医療人養成の学部教育を課題解決の方向に進め、評価しながら段階的に強化していく取組がしっかりしている。

○教育コンテンツをアーカイブ化し、e-learning を用いることは、全国の歯学教育を標準化するという点で評価できる。

○実施体制、評価体制がしっかりとしており、組織的な展開が期待できる。

●5 大学共通の共有必修科目と大学別の個別必修科目がともに 15 時間（東京歯科大学の個別必修科目は 18 時間）で講義するプログラムとなっているが、学生の学習状況に応じて十分な時間数等を確保することが望ましい。

●多職種連携、地域連携に関しては、より実践的な教育プログラムを構築することを期待したい。

●サマースクールが開設される予定となっているが、カリキュラムの構築に当たっては、歯学部学生の負担に配慮した工夫を行うことが望ましい。